

令和3年度宇治市の家計簿

普通会計の歳入・歳出決算額を1/10,000にして、
一般家庭に例えると・・・

前年度からの
増減

具体的には・・・

○収入

給与などの収入	598 万円〔-138 万円〕	市税、譲与税、交付金、使用料など
親からの仕送り	91 万円〔+19 万円〕	地方交付税
ローン（家・車の購入のため）	11 万円〔-23 万円〕	道路・河川の整備、学校改修などの資金
ローン（生活資金のため）	13 万円〔-9 万円〕	臨時財政対策債
預貯金の引き出し	2 万円〔+1 万円〕	基金繰入金
繰越金	9 万円〔+1 万円〕	繰越金



収入合計 724 万円〔-149 万円〕

令和3年度の家計は・・・

昨年度と比べて、給与などの収入は減りましたが、生活費や家・車の購入にかかる経費などが減ったことから、預貯金の積み立てを増やすことができました。

今後、生活費は増えることが見込まれているほか、家・車についても老朽化が進んでおり、修繕や改修などに伴う支出も増える見込みです。

このように、厳しい状況が続くことが見込まれていることから、生活費の抑制はもちろんのこと、その他の支出についても無駄がないか徹底的に見直し、ローンの借入れに無理がないのか、預貯金の残高にも気を配りながら、家計の安定に向けて、引き続き努力や工夫が必要です。

なお、ローン残高は、ローンの借入れを抑えることで減少し、預貯金の積み立ても行えたことから、預貯金残高は、前年度より増加しました。今後も将来の支出に備えて、預貯金の積み立てを行っていくことが必要です。

前年度からの
増減

具体的には・・・

○支出

生活費など	313 万円〔-147 万円〕	人件費、扶助費、維持補修費など
子どもの教育費など	192 万円〔+19 万円〕	教育費、民生費のうち児童福祉費
保険料・下水道費用	81 万円〔-6 万円〕	国保特会、公共下水道事業などへの繰出金
家・車の購入	33 万円〔-31 万円〕	道路・河川の整備、学校改修費用など
貸付金など	23 万円〔+0 万円〕	貸し付け事業の費用（年度末には返金）
預貯金の積み立て	18 万円〔+12 万円〕	基金への積立金
ローンの返済	53 万円〔+2 万円〕	公債費



支出合計 713 万円〔-151 万円〕

差し引き 11 万円〔+2 万円〕

ローン残高 414 万円〔-28 万円〕 年度末の市債残高

預貯金残高 111 万円〔+16 万円〕 年度末の基金残高

（市民一人あたりローン及び預貯金残高の推移）（単位：円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ローン残高	233,774	238,784	225,345
預貯金残高	48,479	51,373	60,472

